



IN926 取扱説明書

ご愛用者登録をしてアンケートに答えると
抽選でプレゼントが当たる!

詳しくはWEBサイトをご覧ください。

パソコン: <http://www.carmate.co.jp/club/>
携帯・スマートフォン: <http://mobile.carmate.co.jp/>



INNO 品番: **IN926**

はじめに

このたびは、カーメイトINNOスキー/スノーボードアタッチメントをお買い上げいただきましてありがとうございます。本品は、スキー/スノーボードを積載するためのINNOシステムキャリア用のアタッチメントです。

本品をお使いになる前には、必ず本書とベーシックステーセットの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

本書をお読みになった後は、ベーシックステーセットの取扱説明書とともに大切に保管してください。

本品をゆずられる場合は、次に使用される方のために本書も併せてお渡してください。本書をお読みになられた上で、ご不明な点がございましたら、本書記載のサービスセンターにお問合せください。

目 次

はじめに	1	使用方法	9
安全にお使いいただくために	2	積載する	10
必ず守ってください	2	走行する	14
取付上及び使用上の警告	2	日常のお手入れ	15
取付上の警告	2	保管方法	15
使用上の警告	3	アタッチメントを保管する	15
使用上の注意	4	純正補修パーツのご案内	16
部品内容を確認する	5	お問合せ先	16
取付方法	6		
ステー、バーを車両に取付ける	6		
アタッチメントの取付準備をする	6		
取付位置を決め、ホルダーの高さ調整をする	7		
アタッチメントをバーに取付ける	8		
アタッチメント取付後の確認	9		

安全にお使いいただくために

必ず守ってください

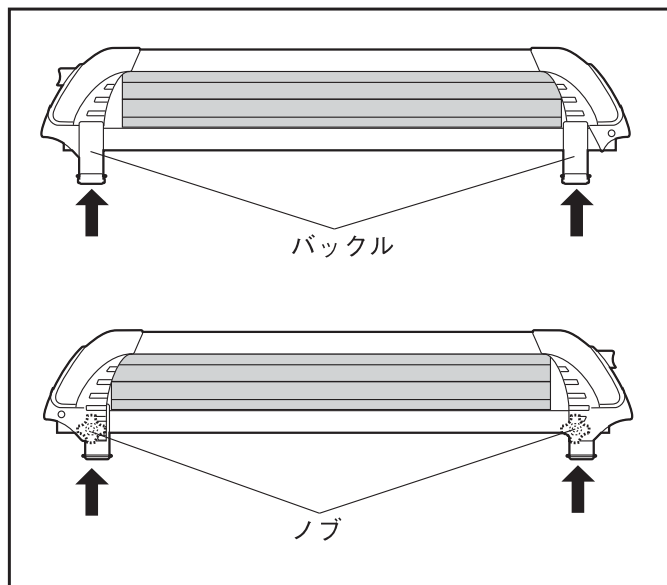
本品を安全に正しくお使いいただくために、次のことから必ず守ってください。



警告

警告事項を守らないと、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。

取付上及び使用上の警告

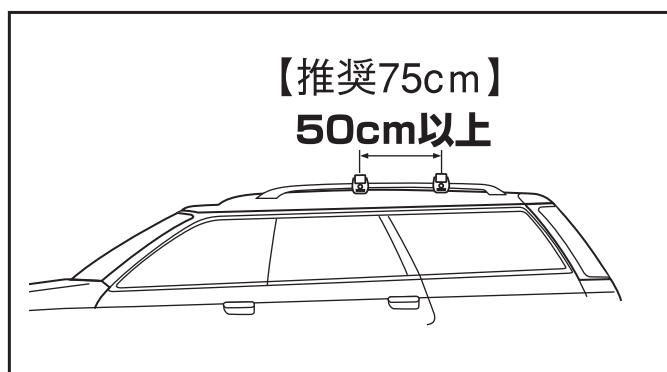


ロック・ユルミ確認

バックルがロックされていないか、ノブにユルミがあると、走行時の風圧・振動によりキャリアが脱落するおそれがあります。

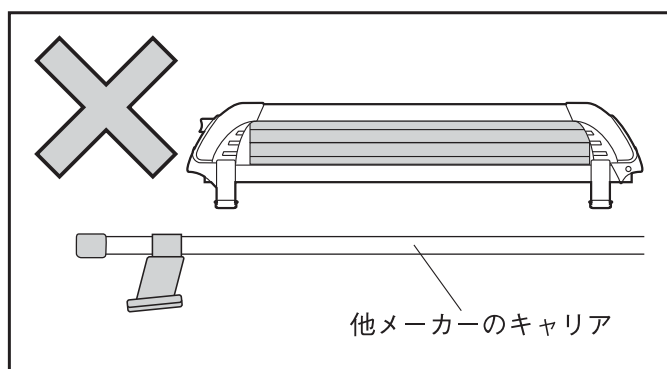
- バックルは確実にロックされているか
- 高さ調整ノブにユルミがないか
- クランプは確実に閉まっているか
- キーはロックされているか

取付上の警告



キャリアの前後間隔は50cm

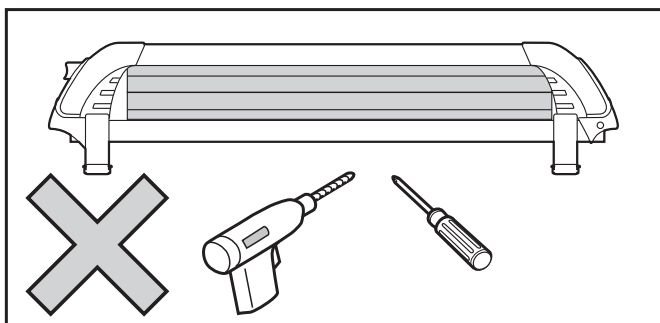
キャリアの前後間隔が50cm未満の状態では、アタッチメントを取付けると、アタッチメントに無理な力がかかることによりキャリアが脱落するおそれがあります。



他メーカーのキャリアへの取付禁止

他メーカーキャリアへの取付けや改造しての取付けは、確実な固定ができずキャリアが脱落するおそれがあります。

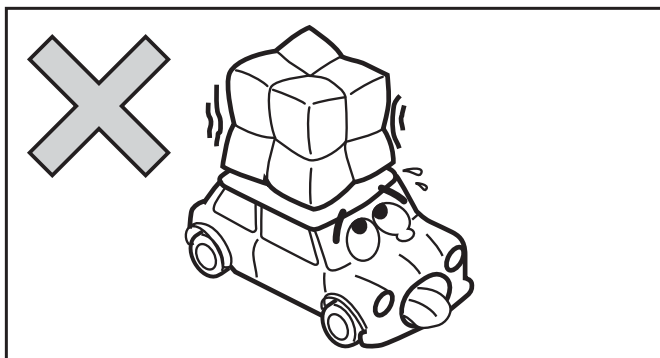
取付上の警告



改造禁止

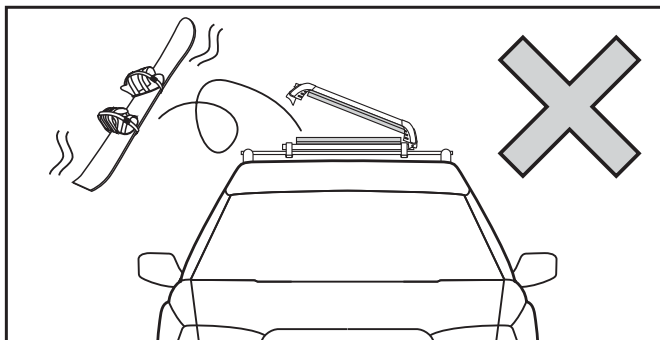
アタッチメントに穴を開けたり、曲げたりする改造を施すと、アタッチメントの強度が低下することによりアタッチメントや積載物が脱落するおそれがあります。

使用上の警告



最大積載量厳守

アタッチメントの最大積載量及び車種毎の最大積載量を守ってください。最大積載量を超えた積載をするとアタッチメントに無理な力がかかることによりキャリアが脱落するおそれがあります。



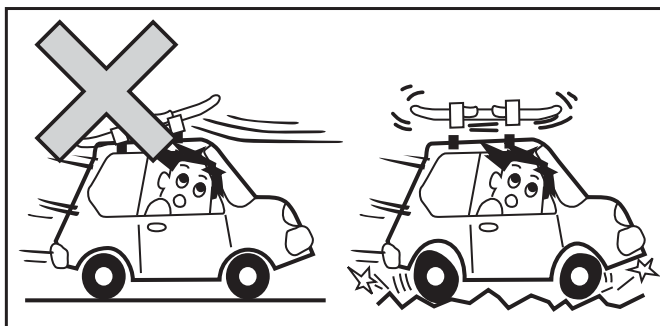
確実にキーロック

キーをロックしないと、何らかの外部の力がクランプアームのボタンに加わった場合、クランプアームが開き積載物が脱落するおそれがあります。



ケース使用禁止

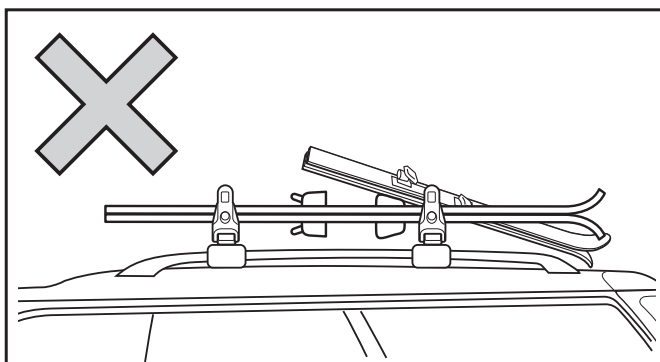
スキーケースやスノーボードケース、保護用ビニール袋を使用しないでください。走行時の風圧が増大することによりキャリアが脱落するおそれがあります。



法定速度を守り、強風時や悪路では充分速度をおとして走行してください。

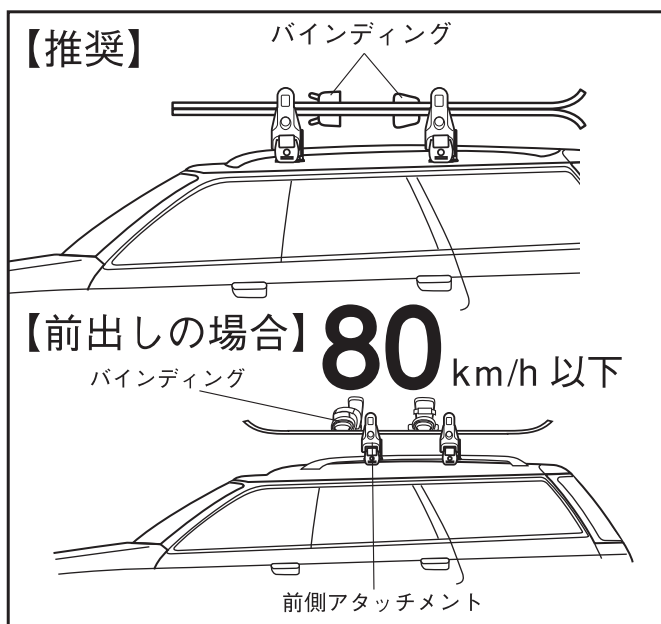
法定速度以上の速度での連続高速走行や強風時の連続走行、過度の悪路走行をすると、キャリアが脱落するおそれがあります。

使用上の警告



短すぎるスキー/スノーボード禁止

子供用などの短いスキーや短いスノーボードを積載すると、走行中に前後キャリアの間から抜けて、スキーやスノーボードが脱落するおそれがあります。



バインディングを前後アタッチメントの間にに入れる。

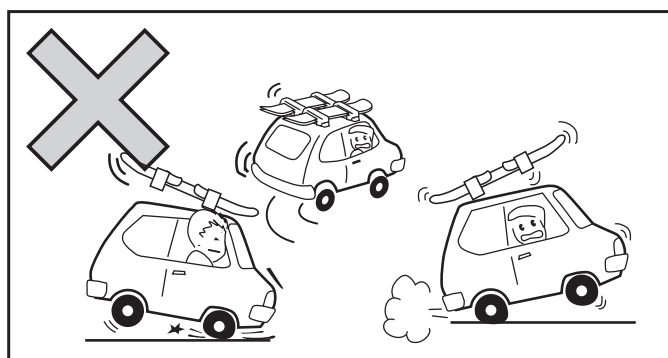
車種や板のサイズによりバインディングが前後アタッチメントの間に入らない場合は、片方のバインディングを前側にずらして積載し、80 km/h以下で走行してください。80 km/h以上の速度で走行すると、スキー・スノーボードを損傷したり、走行時の風圧によりキャリアが脱落するおそれがあります。



注意

注意事項を守らないと、ケガを負ったり、製品・車両・積載物が損傷するおそれがあります。

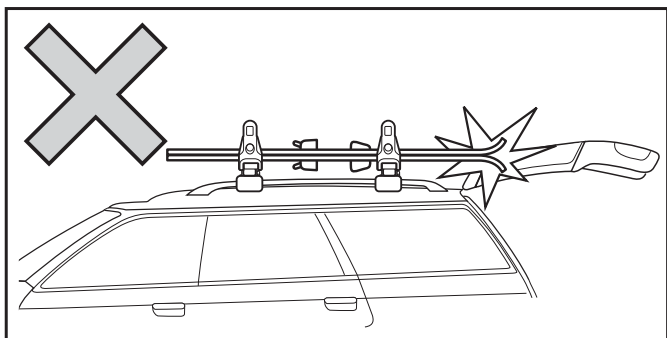
使用上の注意



急発進、急ハンドル、急ブレーキはなるべく避けてください。

積載時に、急発進、急ハンドル、急ブレーキをすると、キャリアの取付位置がずれて車両や製品が損傷するおそれがあります。また、やむを得ず無理な走行をした場合は必ずキャリアの取付状態を確認してください。

使用上の注意



リアゲートやトランクに注意。

リアゲートやトランクを開ける時に、リアゲートやトランクがスキーやスノーボードに当たると、キャリアや車両が損傷するおそれがあります。

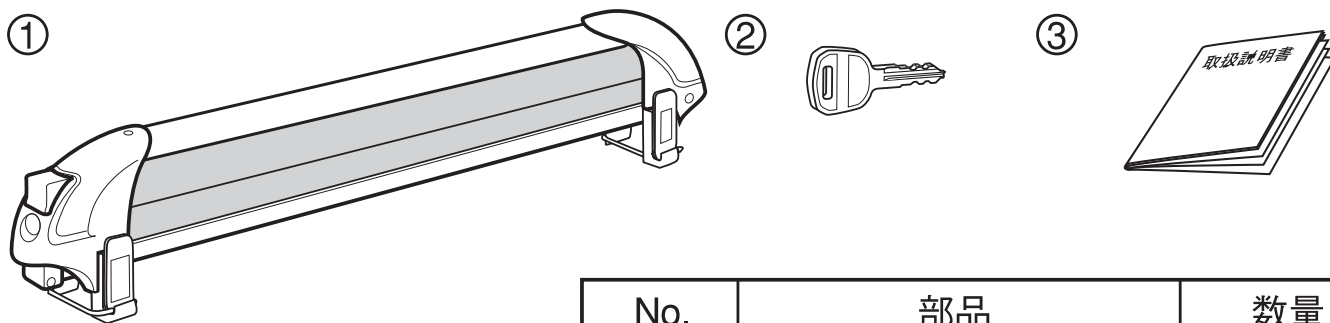


洗車機禁止。

キャリアを取付けたまま洗車機にかけると、キャリアや車両が損傷するおそれがあります。

部品内容を確認する

本品には、次の部品が入っています。内容が正しいかどうか確認してください。
万一、不足部品がありましたら、本書記載のサービスセンターにお問合せください。



No.	部品	数量
①	アタッチメント本体	2セット
②	キー	2個
③	取扱説明書	1部

取付方法

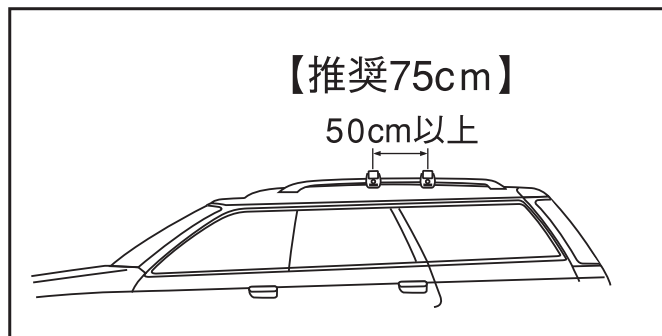
本品の取付けは、以下に示す準備作業・取付作業の順に行います。

参考

アタッチメントを取付けるとバーに多少の取付跡が付きますのでご了承ください。

準備 1

ステー、バーを車両に取付ける



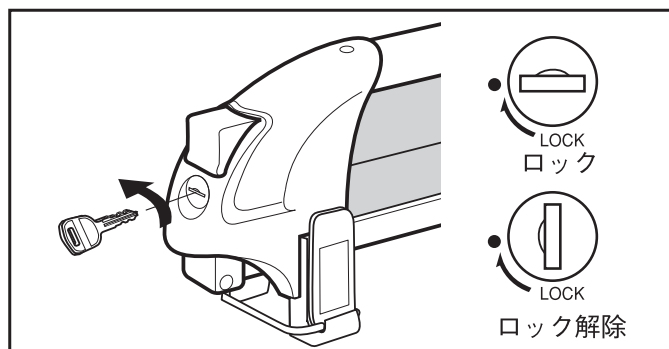
1 ベーシックキャリア（ステー、バー、フック）を前後間隔が50 cm以上になるように取付ける。

参考

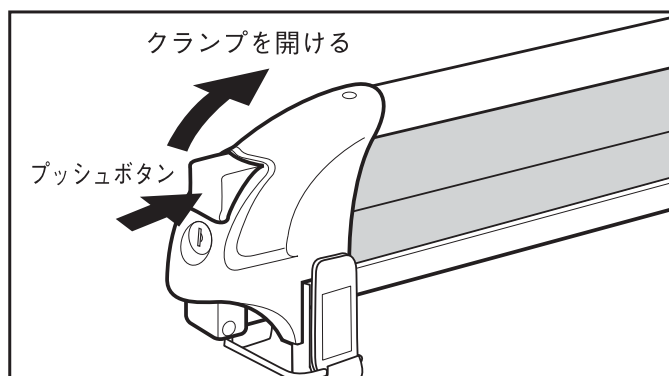
- ベーシックキャリアの取付位置が指定されている場合は各々の取扱説明書に従ってください。
- 一般的な大人用の板を積載する場合は75cm程度を推奨します。

準備 2

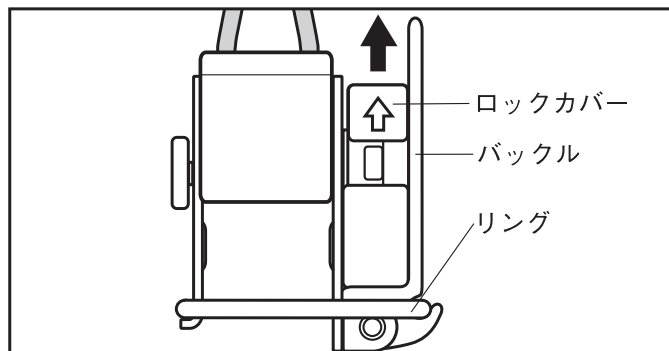
アタッチメントの取付準備をする



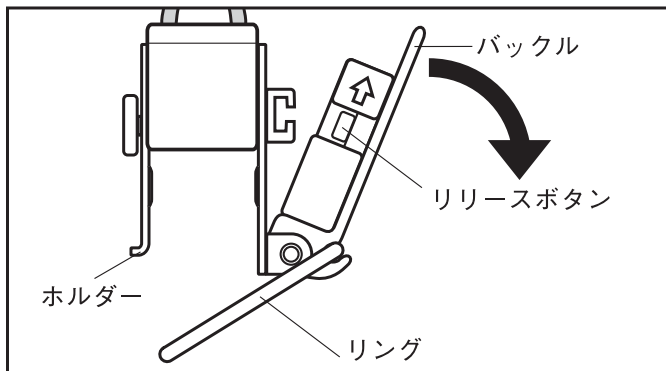
1 カギ穴にキーを差込み、“左”の方向に回してロックを解除する。



2 プッシュボタンを押しながら上方にクランプを押し上げてクランプを開ける。



3 ロックカバーを上押し上げる（キー側のみ）。



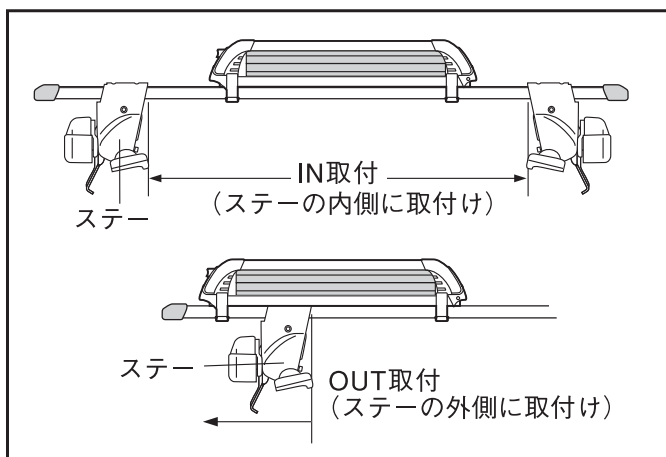
4 リリースボタンを押しながらバックル（1セット、2ヶ所、計4ヶ所）を倒して、リングをホルダーから外す。

キャリア本体&積載物同時ロック

本品は、リリースボタンを押さない限りバックルが開放されない機構により走行中の誤解放を防いでいます。さらに、リリースボタンをキーロック付のクランプでカバーすることで安全性を高める構造になっています。

準備
3

取付位置を決め、ホルダーの高さ調整をする



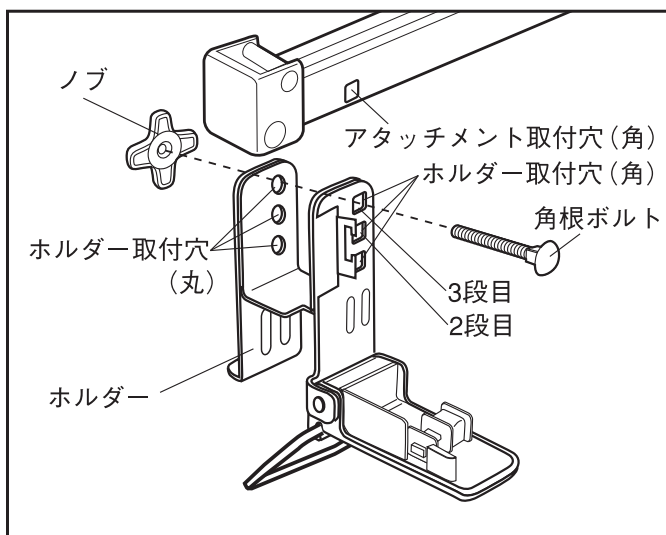
1 下記の表に従い、取付位置を決め、ホルダーの高さ調整をする。

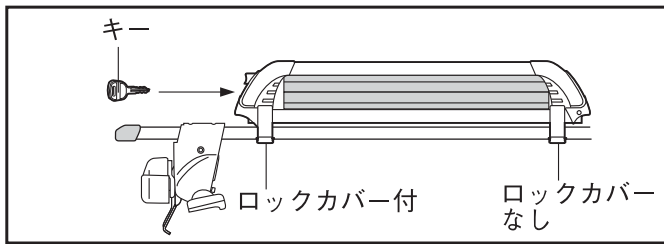
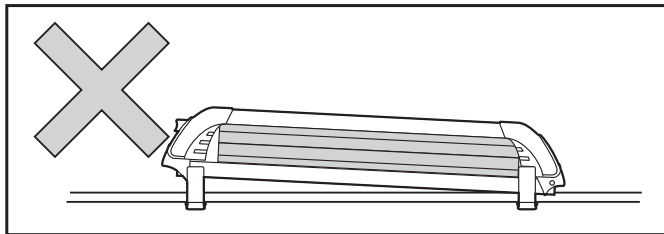
取付位置	ステーセット		高さ調節
IN取付	全てのステーセット		必要なし
OUT取付	IN-AR IN-MR	IN-AD IN-TR	必要なし
	IN-SU IN-SDG IN-MD IN-KD1 IN-DD	IN-SD IN-SR IN-HD IN-KD2	下記の方法で調整する

高さ調整

本品は、高さ調整が可能です。車両の屋根の形状、スキー/スノーボードのバインディングの大きさによっては、バインディングが屋根に当たる場合があります。その際は下記の方法で高さ調整してください。

- ① ノブを回して外し、角根ボルトを抜く。
- ② ホルダーの取付穴形状とアタッチメントの取付穴の位置が合っていることを確認しながら、
- ③ ホルダー取付穴の2段目もしくは3段目に角根ボルトを通し、ノブで確実に固定する。



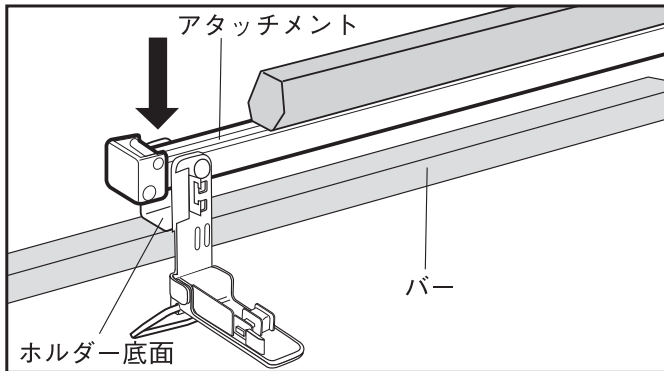


⚠ 注意

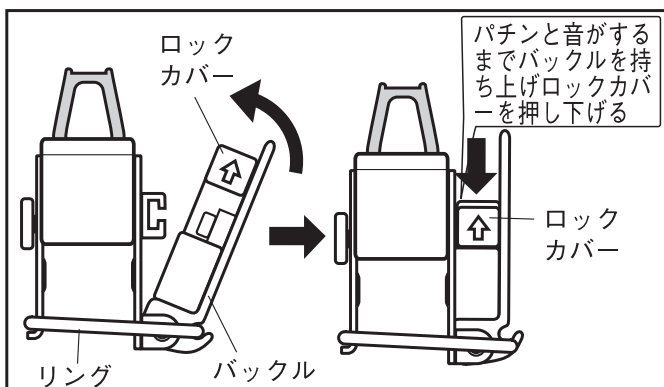
- ホルダー取付穴は、左右両方とも同じ高さで取付けてください。
高さが違うとホルダー部分が損傷するおそれがあります。
- ロックカバーのあるホルダーは、必ずキー側に取付けてください。
キー側に取付けないとロックを解除されるおそれがあります。

取付 1

アタッチメントをバーに取付ける

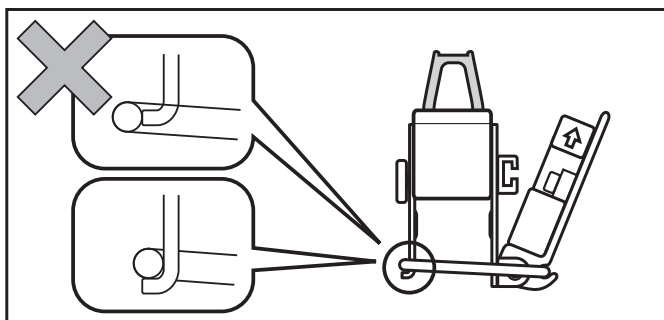


1 アタッチメントをバーに載せホルダーの底面がバーの上に当るまで押し付ける。



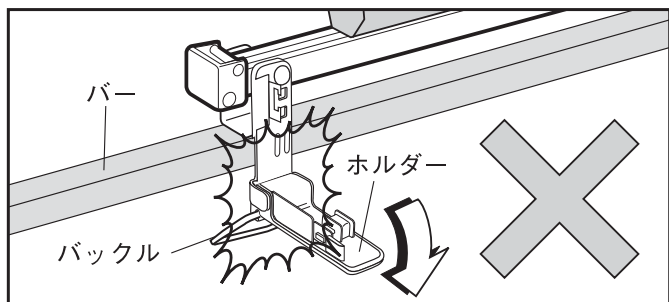
2 リングを引っ掛け、バックルを「パチン」と音がするまで持ち上げる。

3 バックルが確実にホルダーにロックされていることを確認して、ロックカバーを押し下げる。



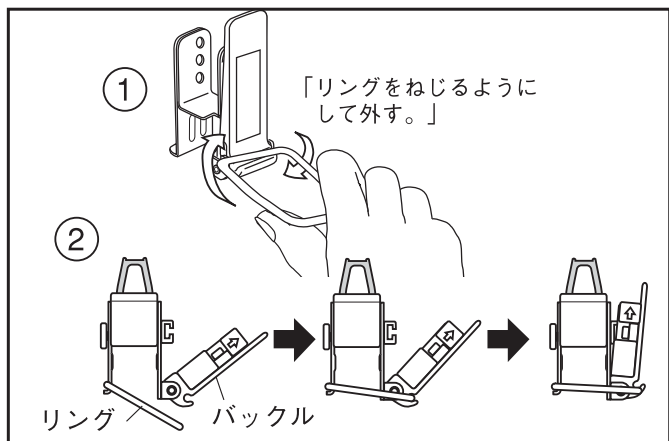
⚠ 注意

リングは図のように確実にホルダーに引っ掛けてください。
リングをホルダー先端部の端面に掛けバックルを持ち上げるとホルダーが破損するおそれがあります。



⚠ 注意

バックルを解放状態で無理に下に押し下げないでください。
ホルダーが破損するおそれがあります。



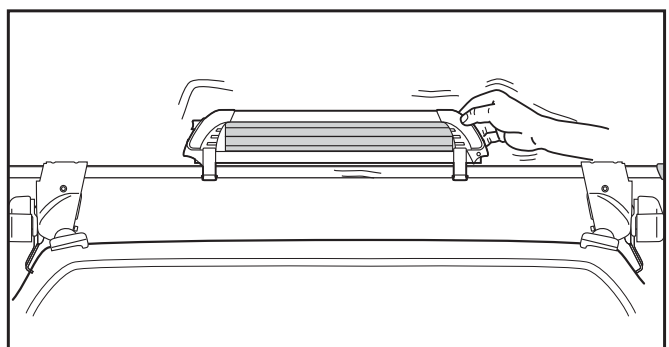
📖 参考

車両の屋根とバーの間隔が狭くリングが掛けられない場合は、下記の手順で作業を行ってください。

- ① アタッチメントをバーから降ろし、リングを外す。
- ② 再度アタッチメントをバーに載せ、左図のように取付ける。

取付 2

アタッチメント取付後の確認



1

前後のアタッチメントを前後・左右・上下にゆすり、ノブやバックルのユルミによるガタツキがないか確認する。

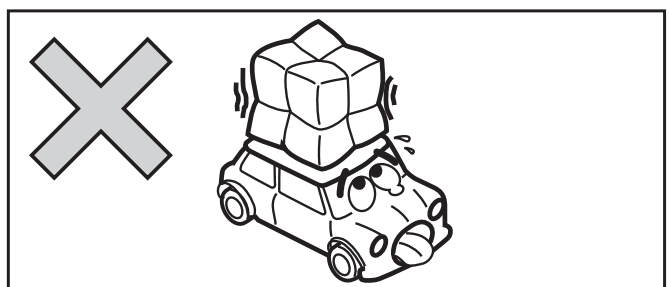
使用方法

本品に積載できるスキー、ストック、スノーボードの数量は、以下の通りです。

スキーのみ	6セット※1
スキー＋ストック	各4セット※1
スノーボードのみ	4台※2
スノーボード ＋スキー	ボード2※2 ＋スキー3※1

※1 カービングスキー等、スキー板の幅により積載台数が少なくなる場合があります。

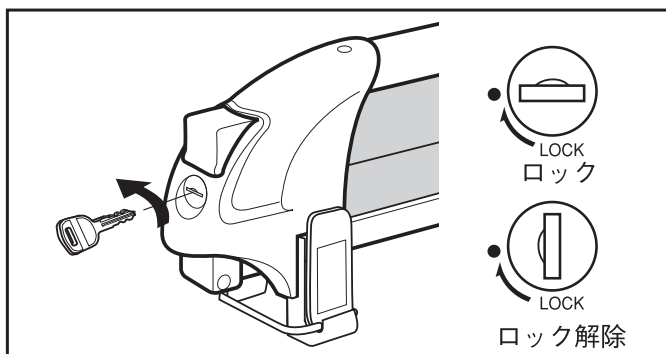
※2 スノーボードの積載台数は、車種・バインディングの大きさにより少なくなる場合があります。



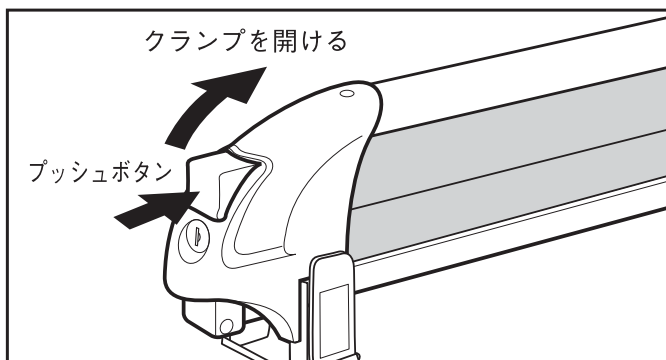
車種毎に屋根のキャリア取付部の強度が異なるため、車種別に最大積載量が指示されています。取付フックの取扱説明書や店頭の適合表にてご確認ください。

使用 1

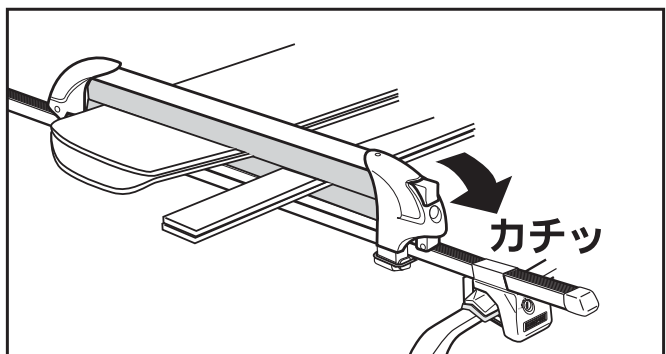
積載する



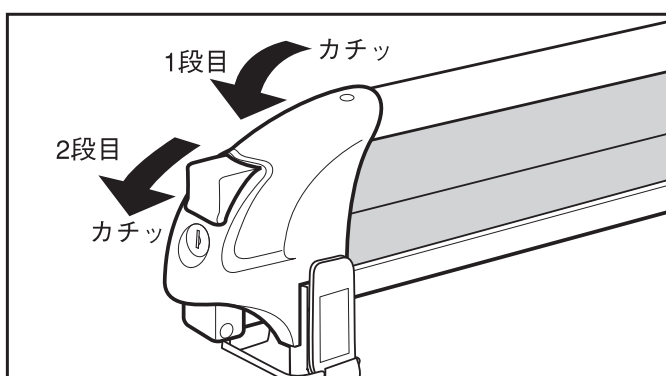
1 カギ穴にキーを差込み、“左”の方向に回してロックを解除する。



2 プッシュボタンを押しながら上方にクランプを押し上げてクランプを開ける。

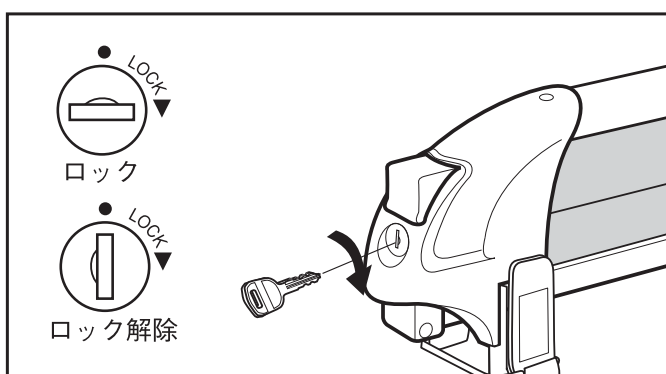


3 スキー、スノーボード、ストックを下記の手順で積載してクランプを「カチッ」と音がするまで閉じる。

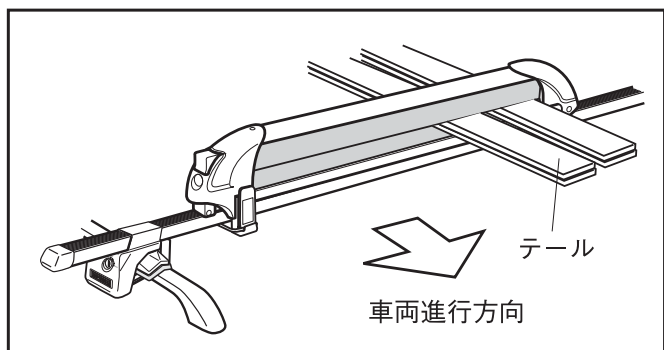
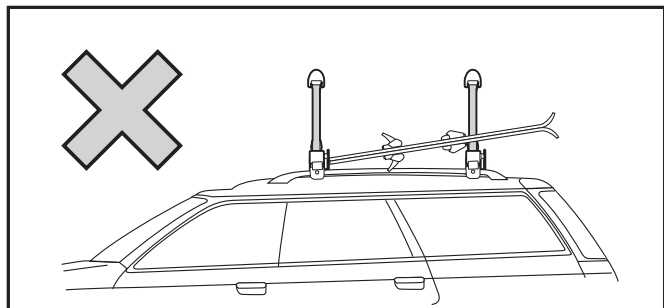
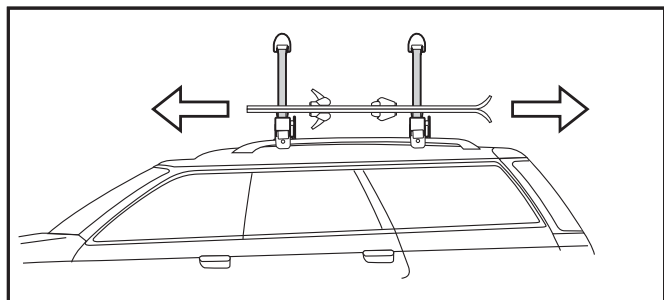


2段階ロック

- 本品は、2段階で締めこむ機能になっています。
- カービングスキーなど、厚い板の場合は1段目を使用する。
 - スノーボードなど薄い板は、2段目まで締めこむ。
 - しっかり固定するため、なるべく2段目まで締めこんでください。



4 キーを差込み、“右”方向に回してロックし、キーを抜く。



5 子供用など短すぎるスキー/スノーボードは脱落のおそれがあるため積載できません。以下の手順で確認してください。

- ① クランプアームを開けた状態でスキー/スノーボードを載せ、板を前後アタッチメントに当たるまでスライドさせる。
- ② スライドさせた結果、板がアタッチメントから外れる場合は、その板は積載しないでください。

スキーの積載方法

スキーは、1セットを組み合わせてテールを車両の進行方向に向けて、バインディングが前後アタッチメントの間に入るように積載してください。

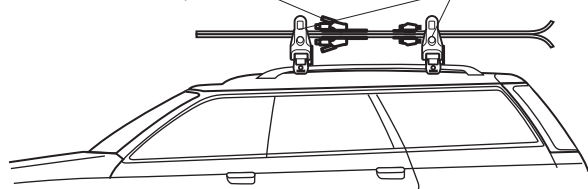
バインディングが前後アタッチメントの間に入らない場合は、片方のバインディングを前側にずらして積載してください。

警告

やむをえず、バインディングを前出しにする場合は80km/h以下で走行してください。80km/h以上の速度で走行すると、スキーが破損したり、脱落するおそれがあります。

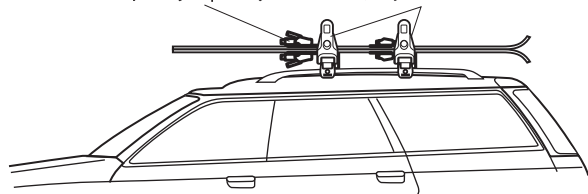
【間に入る場合】法定速度までOK

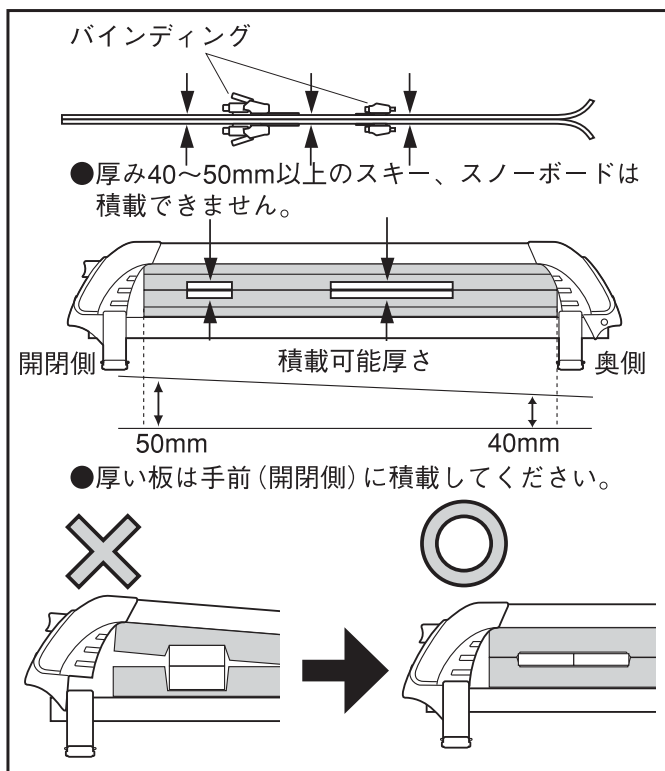
バインディング アタッチメント



【前出しの場合】80km/h以下

バインディング アタッチメント





カービングスキー積載の注意

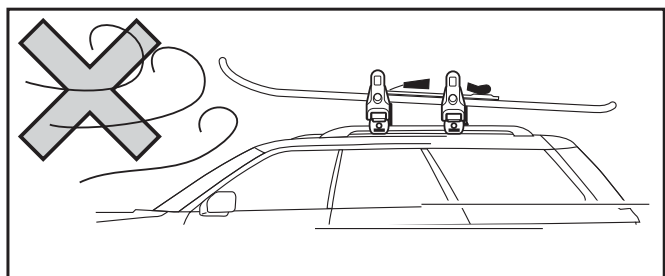
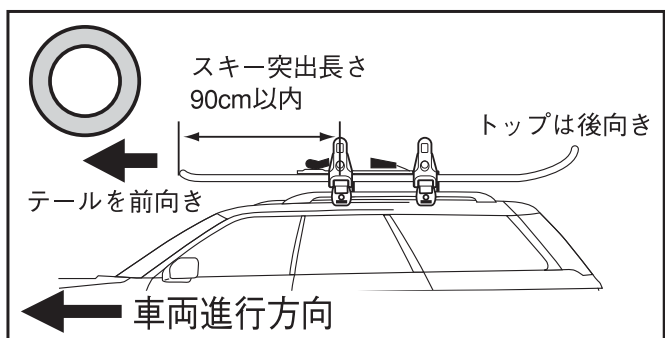
スキーに一体型バインディングやプレートが付いていて、合わせた状態でキャリアに挟めない場合は、スキーを合わせずに、バラして積載してください。

参考

本製品は、手前（開閉側）の方が熱い物が積める構造になっております。厚い板（50mm以内）は、手前に積載してください。

スキー板をバラして積載する場合は、下記の条件を守ってください。

- スキーはテール側を前に向けて積載する。
- バインディングは、前後アタッチメントの間に入れる。入らない場合は、前側にずらす。前側にずらした場合は80km/h以下で走行する。
- 前側キャリアから突出する長さは90cm以内にする。
- 積載する板の厚みの差は10mm以内とする。

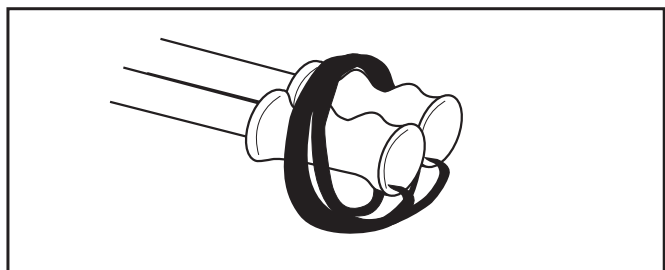


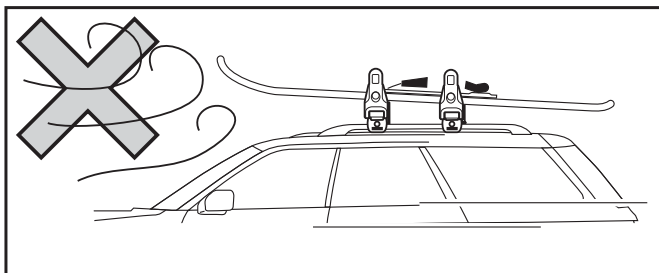
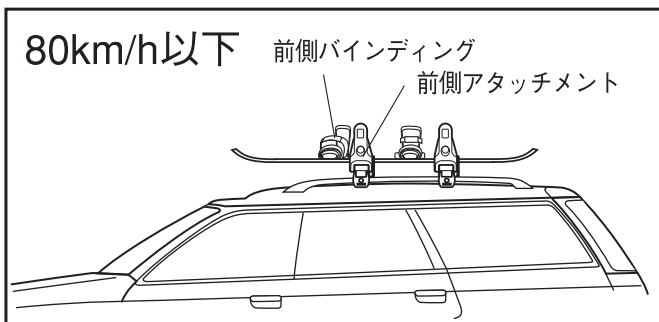
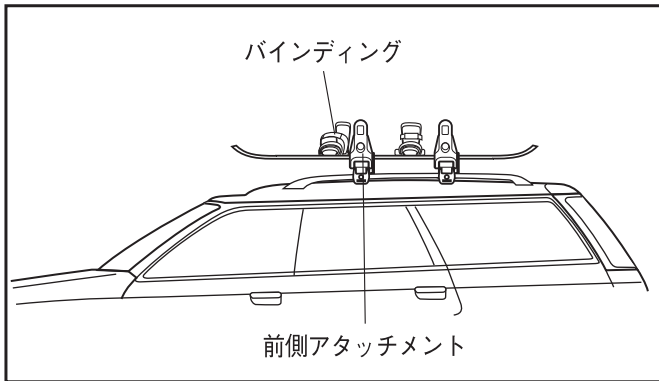
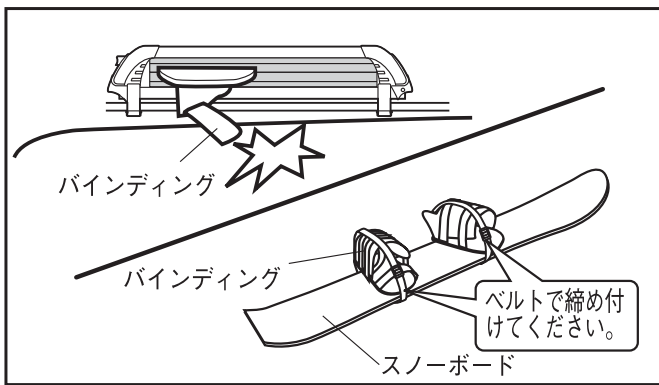
警告

上記条件以外でスキーをバラして積載すると、走行中の風圧等でキャリアや積載物が脱落し、後続車や人を巻き込む重大な事故を起こすおそれがあります。

ストックの積載方法

ストックのベルトがルーフに当たらないようにグリップなどにかからめて固定してから積載する。





スノーボードの積載方法

- 1) バインディングを下向きにして積載する場合は、ベルトなどで固定して積載する。
- 2) バインディングが車両の屋根に当たる場合は、アタッチメントの高さを調整（P7参照）する。

- バインディングが前後アタッチメントの間に入らない場合は、片方のバインディングを前側にずらして積載してください。
- スノーボードは、1台だけでも2台合せても積載できます。

スノーボードを前にずらして積載する場合は、下記の条件を守ってください。

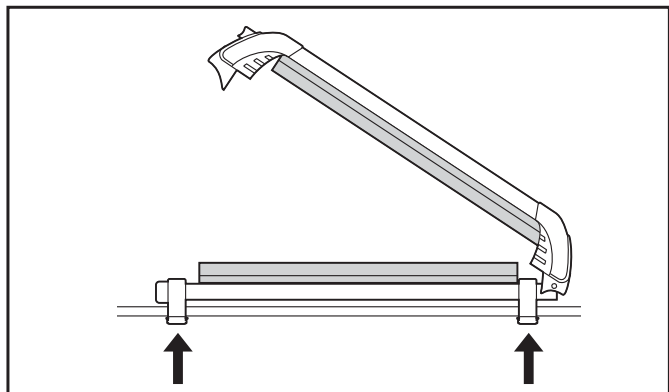
- 前側のバインディングが前側アタッチメントに接するように寄せて積載する。
- 80km/h以下で走行する。
- 必ずバインディングは上向きに積載する。

⚠ 警告

上記条件以外でスノーボードを積載すると、走行中の風圧等でキャリアや積載物が脱落するおそれがあります。

使用
2

走行する



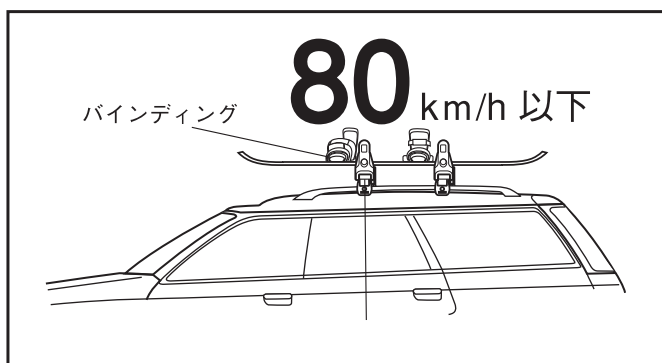
1 走行前に各部を確認する。

- バックルは確実にロックされているか
- ノブにゆるみがないか
- クランプは閉まっているか
- キーはロックされているか

⚠ 警告

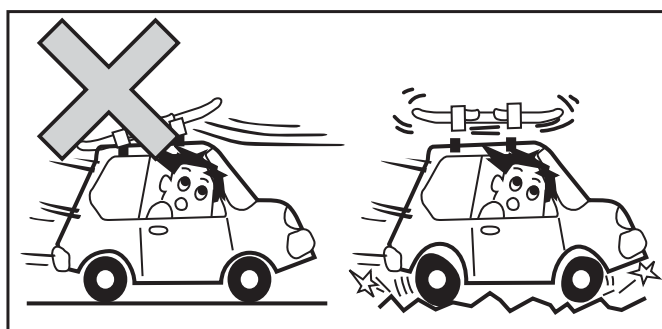
走行前に必ず前後アタッチメント合せて 4ヶ所のバックルが確実にロックされていることを確認し、積載物を載せて高さ調整ノブにユルミがないように増し締めしてください。

2 スキー、スノーボード積載に適した走行をする。



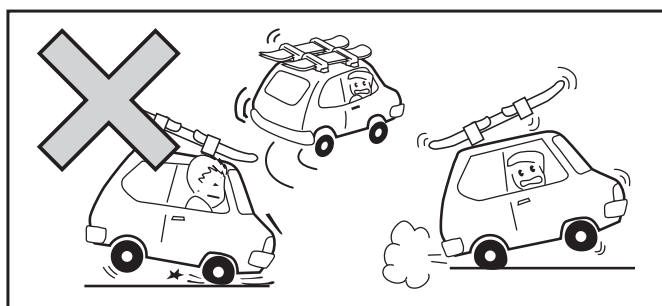
⚠ 警告

スキー/スノーボードのバインディングが前後アタッチメントの間に入らない場合は、必ず80Km/h以下の速度で走行してください。



⚠ 警告

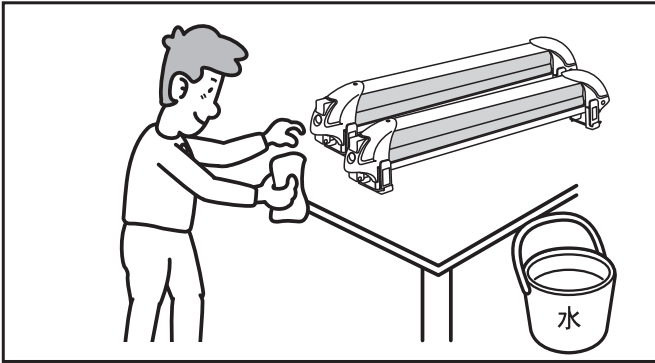
法定速度を守り、強風時や悪路では速度を落してください。



⚠ 注意

急発進、急ハンドル、急ブレーキはなるべく避けてください。また、やむを得ず無理な走行をした場合は必ずキャリアの取付状態を確認してください。

日常のお手入れ

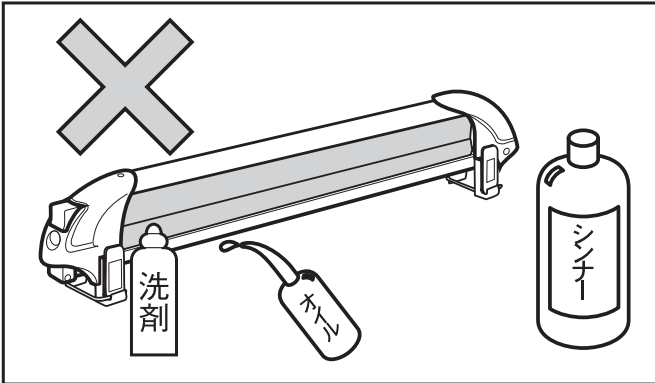


- 1 水で汚れを落とす。
- 2 水を含ませ固く絞ったタオルで汚れを取除く。
- 3 日陰でよく乾燥させる。

⚠ 注意

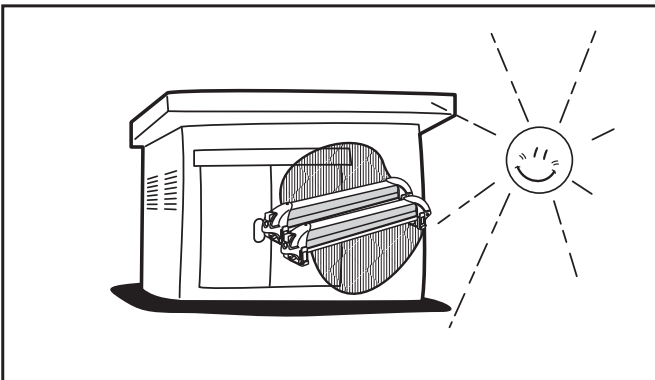
本体の変色、ヒビ割れの原因になりますので下記の事項を守ってください。

- 洗剤（特にアルカリ性洗剤）やワックスは使用しないでください。
- シンナー等の溶剤を使用しないでください。
- ビスやボルトへの給油はしないでください。



保管方法

アタッチメントを保管する



- 1 アタッチメントを清掃し、各部に異常がないかを点検をし、直射日光の当たらない乾燥した屋内に、保管する。

⚠ 警告

部品は、アタッチメント本体に組付け、キーは袋にいれてアタッチメントといっしょに保管すると便利です。

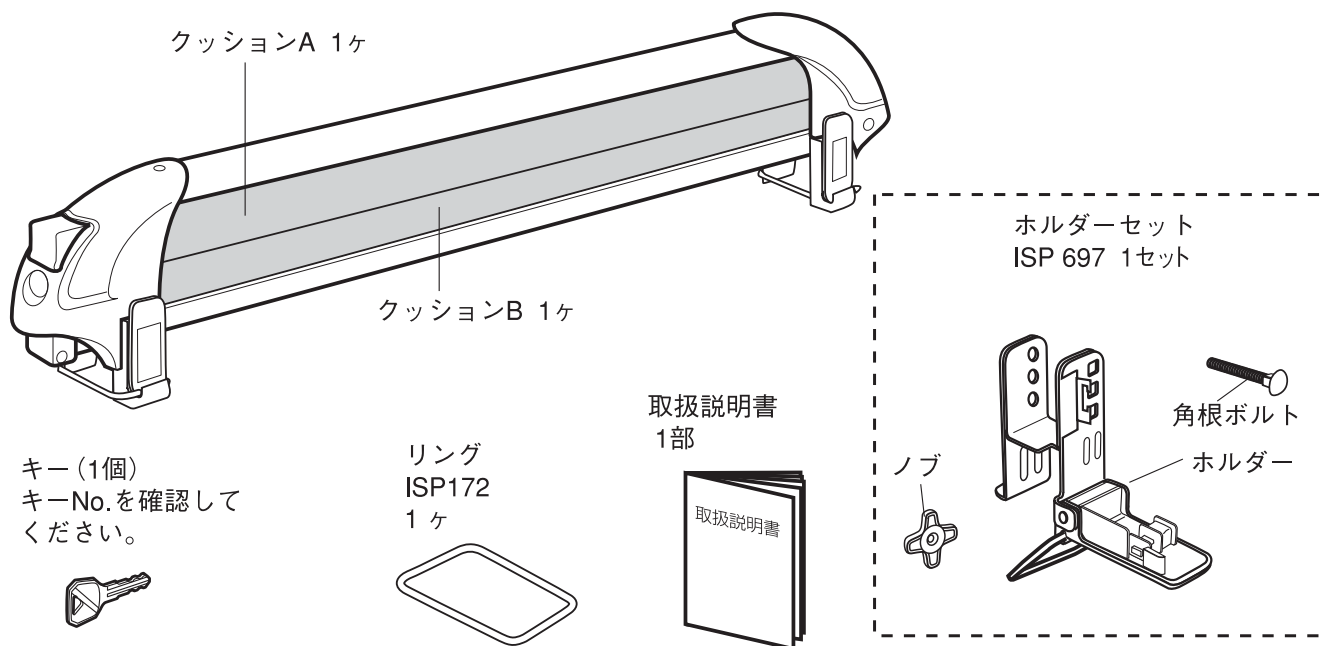
アタッチメントを使用しない時は、雨や紫外線などによるサビや歪みなどを防ぐために、車両から外して保管してください。

純正補修パーツのご案内

本品には下記の純正補修パーツがあります。お求め際には、アタッチメントを購入された販売店にパーツNo.またはパーツ名を指定してご注文ください。

参考

●本品及び純正補修パーツの仕様と外観は改良のため予告なく変更することがあります。



お問合せ先

商品についてのお問い合わせ・補修パーツのご注文は、下記サービスセンターへお問い合わせください。なお、誤った取付けや使用、改造しての使用、台風等の天災による事故の責任は一切負いかねます。

お問い合わせ窓口：カーメイトサービスセンター

ホームページ：<http://www.carmate.co.jp/support/>
TEL.03-5926-1212(代表) FAX.03-5926-1218

〒171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11